

良品計画グループ

木材・紙の調達ガイドライン

バージョン： 1.0
発効日： 2025 年 12 月
管理者： ESG 経営推進部門、生産管理部門

目次

1. 目的	2
2. 適用範囲	2
3. 調達指針	2
木材・紙の調達における目標：	2
4. 行動指針	2
4-1 原材料の責任ある調達	2
4-2 ステークホルダーエンゲージメント	3
4-3 適切な情報開示と透明性の確保	3
5. 本ガイドラインの改定について	3

1. 目的

本ガイドラインは、木材・紙の持続可能な調達にむけて、「良品計画グループ 責任ある原材料調達指針」に準拠するとともに、その補完を目的としています。良品計画グループの従業員は、本ガイドラインの内容を適切に理解し、木材の持続可能な調達を目指します。

2. 適用範囲

本ガイドラインは、無印良品の生活雑貨、衣服・雑貨の商品に使用される木材・紙を対象としています。ただし、ライフサイクルを終えた使用済み木材・紙¹、それらや非木材パルプのみを原料とした紙、および段ボールは本ガイドラインの対象外です。

3. 調達指針

良品計画グループは以下の目標の実現に向けて、地球環境、生産者や地域への影響に配慮した木材・紙の調達を目指します。またリサイクル素材の活用も推進します。

木材・紙の調達における目標：

- 1) 森林破壊ゼロ
 - 森林以外の土地利用への転換がないこと
 - 適切に管理された植林地からの木材の使用
 - 保全価値の高い地域（HCV: High Conservation Value）²の開発禁止
- 2) 泥炭地³破壊ゼロ
 - 泥炭地の新たな開発禁止
- 3) 搾取ゼロ
 - 先住民、地域住民及び労働者の搾取がないこと

4. 行動指針

4-1 原材料の責任ある調達

良品計画グループは持続可能な木材・紙の調達を行うため、「良品計画グループ 責任ある原材料調達指針」の行動指針に従い、サプライチェーンにおける人権および環境リスクの影響を特定・評価し、リスクを防止・軽減するためのデュー・ディリジェンス・プロセスを構築します。トレーサビリティを確保し、持続可能な調達を実現するため国際的な認証（FSC⁴、PEFC⁵など）も活用していきます。

¹ 一度使用され、再利用されなければ廃棄物として処分されることになる木材・紙

² 生物多様性、水資源、文化的価値など、保全上重要な価値を持つ森林として、High Conservation Value Resource Network（HCVRN）によって定義されている地域を指します。

³ 地中に炭素を大量に固定しているため、開発によって大量の温室効果ガスが大気中に排出される事になります。

⁴ FSC: Forest Stewardship Council

⁵ PEFC: Programme for the Endorsement of Forest Certification

4-2 ステークホルダーエンゲージメント

良品計画グループは、「良品計画グループ 責任ある原材料調達指針」の行動指針に従い、ステークホルダーとの対話を重視し、木材・紙の調達に関する共通の理解と協力を深めます。

4-3 適切な情報開示と透明性の確保

良品計画グループは、国際的なサステナビリティ情報開示基準に沿って原材料調達に関する取り組み等を定期的に関示し、透明性の確保に努めます。また、原材料の調達に関する表示内容や広告表現について、その正当性を証明できるよう情報の管理を行います。

5. 本ガイドラインの改定について

本ガイドラインは、社会情勢の変化やデュー・ディリジェンスの結果等に応じて適宜見直し、改定を行うことがあります。